

# 紫竹御嶽講の今昔と私

埼玉県川島町

紫竹御嶽講元

小高

登

紫竹御嶽講は埼玉県のほぼ中央に位置し四方を川に囲まれている比企郡川島町の一番小さな大字おおちで昔から御嶽山を信仰しております。

記録によると大正十二年二月八日十四名で講を結び毎年抽籤で二名の代参を決めて続けてきましたが、現在は講員一九名、代参は四名です。以前は大山講・榛名講もありましたが現在御嶽講のみです。

私の家では、大神宮の神棚と並び「大口真神様」がお祀りしてあり私の幼少の頃から御師の高名さんがお出でになり家に泊り紫竹他近隣の講中を廻り、奉納された新米は家に持寄り御師さんに送っております。今では御師さんも日帰りとなりましたがずっと続いておられます。

戦争末期農家の一員となり食糧増産の一翼を担って来た私ですが、当時から代参・太々講を数多く経験しております。忘れられないのは、昭和二十年代紫竹・吉原・新堀の三講での太々神楽の奏上です。約六十人、大部分が自転車で奉納

米・俵（内俵・外俵・棧俵）縄等を分け持ち、歩きで登山し御師さん宅で見事な米俵にして奉納し、



神社の鳥居の前で飯台に詰めた紅白のお供え餅を投げ、売店の老若男女の方が集まってきて賑わったことです。

紫竹の講は、鎮守の愛宕神社に「大口真神様」がお祀りしてあります。先年その社の改築を致しましたが、竣工式に御師さんにお出

でいただきご指導いただきました（写真）。また私は五十八才の時、胃の全摘出の手術を受け生死の間をさまよい九死に一生を得、奇跡的に生き延びました。あれから十七年瘦身ですが日常生活に支障なく僅かですが米作りもしております。



一月	一日 元旦祭
	三日 太占祭
二月	三日 節分祭
	初午 稲荷社祭
三月	十一日 紀元祭
	八日 春季祭
四月	十九日 御岳山文化講座
	二十日 奉納俳句奉告祭
五月	下旬 産安社祭
	二十九日 奉納剣道大会
六月	八日 日の出祭(例祭)
	十五日 男具那社祭
七月	十五日 大口真神社祭
	二十日 仏法僧と探鳥のつどい
八月	五日 峰中修行(一泊二日)
	六日 峰中修行(二泊三日)
九月	二十日 神楽と雅楽の一般公開
	三十日 夏越大祓
十月	四日 カンタンを聴く会
	十一日 峰中修行(二泊二日)
	十二日 御岳山文化講座
	十七日 神楽と雅楽の一般公開
	二十日 流鏝馬祭
	二十九日 大口真神社祭
十一月	九日 薪神楽
	十日 新神楽
十二月	五日 秋季祭
	二十三日 末社祭
一月	十二日 みたけ山山岳マラソン
	二十三日 天長祭
二月	三十一日 大祓
三月	八日 月次祭
四月	毎日 日供祭

第二十一号記載六月二十三日の峰中修行が変更になりました。

## 郷土芸能、お囃子、能、神楽等の奉納のお願い



## レンゲシヨウウマ祭り 8月1日〜31日

夏が来ると毎年会いたくなる花、レンゲシヨウウマ。今年もケーブルカー御岳山駅近くに鎮座する御嶽神社攝社、産安社の周辺に五万株のかれんな花を咲かせる。ぜひ今年も会いに来てはいかがですか。土・日曜日には各種イベントが予定されています。

平成十七年の式年大祭に合わせて郷土芸能、お囃子、能、神楽等の奉納をお願いしております。式年大祭期間中の三月二十五日から五月三十一日の間。詳細は社務所まで。

## 峰中修行参加の御案内

### 「滝行・山がけ・鎮魂」

#### 募集要項

日程 六月 五日〜 六日

九月十一日〜十二日

参加費 一万円（一泊二食）

参加条件 十八歳〜六十歳

の健康な方

滝行の服装など貸出又は販売いたします。男女問わず大勢のご参加をお待ち申し上げます。

詳細は社務所まで



## 能面奉納

日本能面工匠会々長である小倉宗衛氏により、神性を帯びた超人的な霊の面「神体」一面をご奉納戴いた。これで先の四面「白式尉」「黒式尉」「父尉」「延命冠者」に併せて五面を宝物殿に展示しております。

鑑賞を通じて伝統文化の神髄にふれていただければ幸いです。

